



三菱ガス化学株式会社

mitsubishi gas chemical company, inc.

第87期 中間報告書

2013年4月1日 — 2013年9月30日

■ CONTENTS

ごあいさつ	1
連結業績ハイライト	2
事業別営業概況	3
トピックス	5
連結財務諸表	7
株式の概要	9
会社概要	10
株式についてのご案内	裏表紙

株主の皆様には日頃よりご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第87期第2四半期連結累計期間（2013年4月1日から2013年9月30日まで）の事業活動についてご報告申し上げます。



代表取締役社長
倉井 敏磨

当第2四半期連結累計期間（2013年4月1日～2013年9月30日）におけるわが国経済は、円安による輸出環境の改善など、景気の持ち直しが見られる一方で、中国をはじめとした新興国経済の成長鈍化による需要減速などの不安定な状況も続きました。

当社グループにおきましては、円安を背景とした製品全般の販売価格上昇などにより、前年同期に比べ、増収となりました。

営業利益は、輸出製品の採算改善に加え、半導体及び液晶向け製品の販売数量が増加したことや、前期に実施した構造改革により高純度イソフタル酸及びメタキシレンの固定費が軽減されたことなどから、増益となりました。

営業利益の増加に加えて、持分法利益も海外のメタノール生産会社を中心に前年同期を上回ったことから、経常利益も増益となりました。

以上の結果、売上高2,665億円（前年同期比337億円増（14.5%増））、営業利益100億円（前年同期比60億円増（154.8%増））、持分法利益118億円（前年同期比19億円増（19.2%増））、経常利益215億円（前年同期比103億円増（92.0%増））、四半期純利益185億円（前年同期比104億円増（128.6%増））となりました。

株主の皆様には引き続きご支援、ご鞭撻を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

2013年12月

中期経営計画 「MGC Will2014」

【グループビジョン】

MGCグループは全ての事業活動においてCSRの実践を徹底し、グローバルな舞台で「独自技術に立脚した特色と存在感のある優良化学会社」として、持続的成長を目指します。

【基本方針】

1. 中核事業の強化
2. 不採算事業の再構築
3. 新規事業の創出と育成の加速
4. 持続的成長を支える〈質〉の向上

【2014年度 目標連結財務指標】

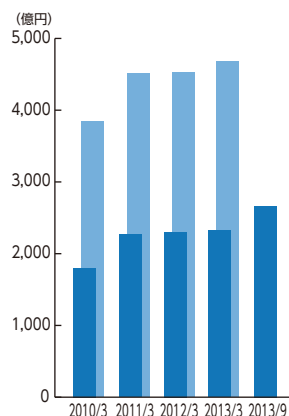
売上高	6,000 億円
営業利益	400 億円
経常利益	600 億円
ROA (総資産経常利益率)	9.0 %

連結業績ハイライト

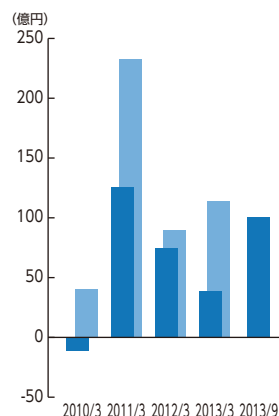
(単位：百万円)

	当第2四半期 (累計) 2013年4月1日～ 9月30日	前第2四半期 (累計) 2012年4月1日～ 9月30日	前期 2012年4月1日～ 2013年3月31日
売上高	266,563	232,789	467,979
営業利益	10,020	3,933	11,421
経常利益	21,574	11,235	27,651
四半期 (当期) 純利益	18,550	8,116	△7,793
1株当たり四半期 (当期) 純利益 (円)	41.07	17.97	△17.25

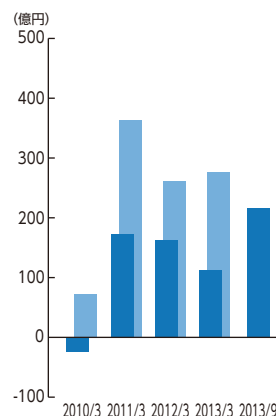
■ 売上高



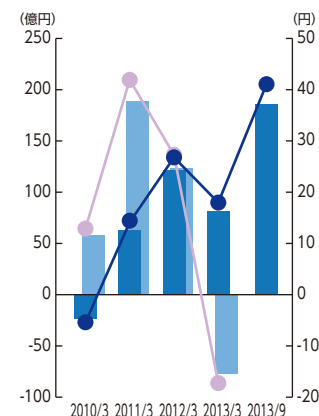
■ 営業利益



■ 経常利益



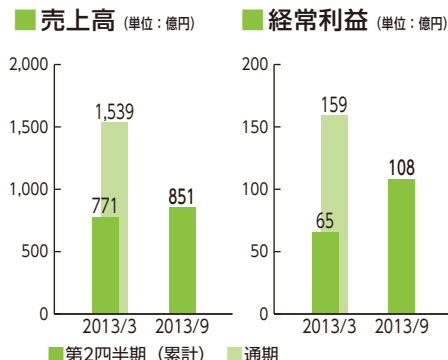
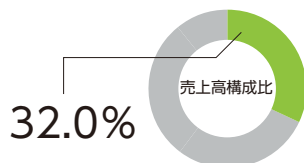
■ 四半期 (当期) 純利益 /
1株当たり四半期 (当期) 純利益



■ 第2四半期 (累計) ■ 通期 ● 1株当たり四半期純利益 ● 1株当たり当期純利益

事業別営業概況

(自2013年4月1日 至2013年9月30日)



天然ガス系化学品事業

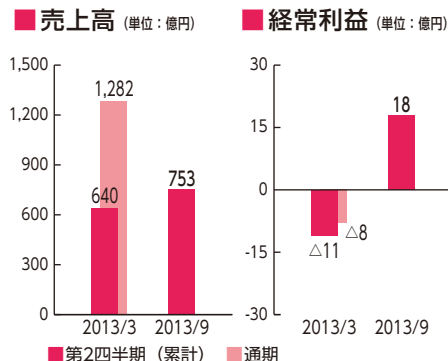
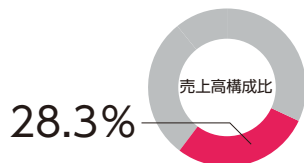
主要製品
メタノール、アンモニア、メチルアミン、
MMA、多価アルコール 等

メタノールは、円安と堅調な市況により販売価格が上昇し、増収となりました。

メタノール・アンモニア系化学品は、円安によりMMA系製品やネオペンチルグリコールの輸出採算が改善したことや、アンモニア装置の修繕費が減少したことなどから、増収増益となりました。

原油その他のエネルギー販売は、原油販売が堅調に推移し、前年同期並みの損益となりました。

以上の結果、売上高851億円（前年同期比79億円増（10.4%増））、営業利益20億円（前年同期比26億円改善）となりました。また、海外のメタノール生産会社を中心とする持分法利益を96億円計上した結果、経常利益は108億円（前年同期比43億円増（65.9%増））となりました。



芳香族化学品事業

主要製品
メタキシレン、メタキシレンジアミン、MXナイロン、
芳香族アルデヒド、高純度イソフタル酸 等

特殊芳香族化学品は、円安によりメタキシレンジアミンやMXナイロン、芳香族アルデヒドの輸出採算が改善したことから、増収増益となりました。

高純度イソフタル酸などの汎用芳香族化学品は、販売数量の増加と円安による輸出採算の改善に加え、前期に実施した構造改革により固定費が軽減されたことから、増収増益となりました。

以上の結果、売上高753億円（前年同期比112億円増（17.6%増））、営業利益20億円（前年同期比27億円改善）、経常利益18億円（前年同期比30億円改善）となりました。

機能化学品事業

主要製品
過酸化水素、電子工業用薬品、
ポリカーボネート樹脂、ポリアセタール樹脂 等

工業用無機薬品類は、円安により過硫酸塩類の輸出採算が改善したもの、過酸化水素の国内向け販売数量が減少したことから、減益となりました。

電子工業用薬品は、円安による輸出採算の改善や、海外の一部地域では

半導体、液晶向けともに好調に推移したことなどから、増収増益となりました。

エンジニアリングプラスチックスは、ポリアセタールの販売価格が下落したことや、ポリカーボネートの損益が悪化したことから、減益となりました。

ポリカーボネートシート・フィルムは、フラットパネルディスプレイ向けフィルムの販売数量が前年同期を上回り、増収増益となりました。

以上の結果、売上高768億円（前年同期比121億円増（18.8%増））、営業利益36億円（前年同期比8億円減（19.2%減））となりました。また、持分法利益を9億円計上した結果、経常利益は41億円（前年同期比3億円減（8.5%減））となりました。

特殊機能材事業

主要製品
プリント配線板用材料、脱酸素剤 等

電子材料は、主力の半導体パッケージ向けBT材料が、スマートフォン関連用途を中心とした販売数量の増加や、輸出採算の改善などにより、増収増益となりました。

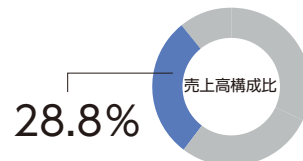
「エージレス®」などの脱酸素剤は、国内の食品用途が堅調に推移したことに加え、医薬品用途などが伸長した結果、増収増益となりました。

以上の結果、売上高288億円（前年同期比23億円増（9.1%増））、営業利益34億円（前年同期比14億円増（70.3%増））、経常利益37億円（前年同期比18億円増（94.7%増））となりました。

その他の事業

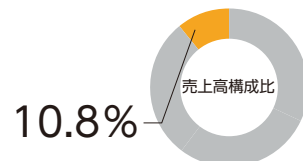
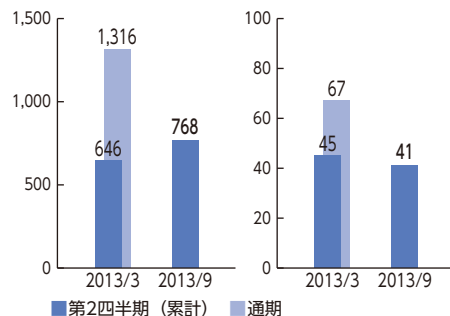
不動産業など

その他の事業の売上高は3億円（前年同期比0億円減（9.4%減））、営業利益は1億円（前年同期比0億円減（16.6%減））、経常利益は9億円（前年同期比1億円増（19.1%増））となりました。



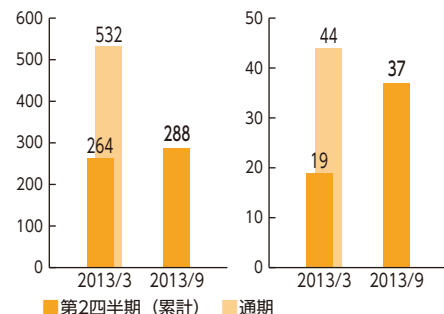
■ 売上高（単位：億円）

■ 経常利益（単位：億円）



■ 売上高（単位：億円）

■ 経常利益（単位：億円）



中核事業のグローバル展開を加速

1

海外メタノール事業の更なる発展に向けて

トリニダード・トバゴ共和国において、三菱商事株式会社、同国政府、同国企業のニール・アンド・マッシーとともにメタノール年産能力100万トン、ジメチルエーテル年産能力10万トンのフィジビリティスタディ（実行可能性調査）に入りました。本年度中に最終投資判断の上、2016年度中の生産開始を目指します。

当プロジェクトにおいて生産されるメタノールを世界中で販売するとともに、同国並びに周辺カリブ諸国において、ジメチルエーテルのディーゼル燃料及びLPG代替促進に向けたプロモーションを行っています。



▲新潟工場内のジメチルエーテルプラント

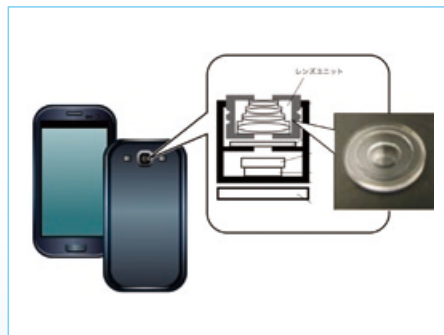
2

モバイル機器用カメラレンズの高解像度化を支える特殊ポリカーボネート樹脂

スマートフォンやタブレットに搭載されるカメラの性能は年々向上し、今では10メガピクセルを超える解像度を持つものも増加しています。

高性能化するモバイル機器のカメラレンズの多くに、MGCの特殊ポリカーボネート「ユピゼータ®EPシリーズ」が採用されています。

特殊な原料から合成された「ユピゼータ®EPシリーズ」は、高透明性、高屈折率、低複屈折といった優れた光学性能と高流動性、低汚染性といった加工性能を兼ね備えており、カメラの高解像度化に貢献しています。



▲ユピゼータ®を成形して得られた高屈折レンズ（写真）とスマートフォン付帯カメラのイメージ

3 ウェブサイトリニューアルのお知らせ

コーポレートウェブサイトのリニューアルいたしました。

(<http://www.mgc.co.jp/>)

本リニューアルにおいてはデザインを刷新し、ご利用いただく皆様が必要とする情報にアクセスしやすくなるように、使いやすさ・分かりやすさを向上させました。

今後とも、当社へのご理解を深めていただけるよう、ウェブサイトの充実に努めてまいります。



企業広告「技術百化」新シリーズのご紹介

■MXナイロン篇

MGCの自社開発技術が生み出すMXナイロン（ナイロンMXD6）。酸素も二酸化炭素もほとんど通さない画期的な樹脂で、PET樹脂と組み合わせることでビールやコーラなどの炭酸飲料や、ワインなどの美味しさを保つと同時に、ガラス瓶代替材として輸送時の二酸化炭素の削減に貢献しています。

PETボトル以外にも、食品包装用フィルム、自動車のドアミラー、アクセルペダルなど、その用途はますます広がっています。

決して気を抜かないように、守り抜く。
ガスバリアでおいしきキープ。
しかも軽量・省資源。
PETボトルに「MXナイロン」。

さまざまな飲料に求められるPETボトル、酸素は通さないが、気は透過する二酸化炭素は透過してしまう。MGCの「MXナイロン」は、酸素も二酸化炭素もほとんど通さない画期的な高機能樹脂。ガスバリアに優れ、しかも軽量で省資源。PETボトルと組み合わせることで、炭酸飲料やジュース、ビールなどをよりおいしく保ち、輸送時の二酸化炭素の削減に貢献。優れても強い強度を確保する。PETボトルの強度の強化に貢献。優れても強い強度を確保する。PETボトルにも食品包装フィルム、自動車用のドアミラー、アクセルペダルなど、さまざまな用途が広がっています。MGCのMXナイロンは、その性能が業界で約90%以上、もともと高機能な素材です。最適な製品から選り、開発を進めています。MGCの技術が守るおいと輝いています。

技術百化	
技術百化製品	技術百化製品
技術百化製品	技術百化製品
技術百化製品	技術百化製品
技術百化製品	技術百化製品
技術百化製品	技術百化製品

三井化学株式会社

連結財務諸表

連結貸借対照表(要約)

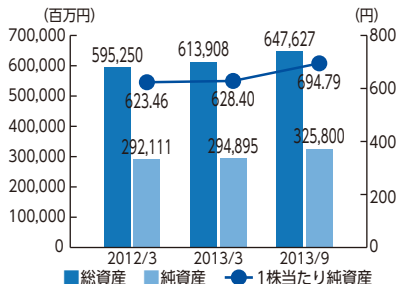
(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 (2013年9月30日現在)	前期 (2013年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	267,943	261,397
現金及び預金	32,903	28,888
受取手形及び売掛金	124,157	127,843
有価証券	130	140
たな卸資産	94,432	88,041
その他	16,320	16,483
固定資産	379,683	352,511
有形固定資産	203,105	195,453
建物及び構築物	60,498	55,570
機械装置及び運搬具	70,889	69,780
その他	71,717	70,103
無形固定資産	3,448	3,374
投資その他の資産	173,129	153,683
投資有価証券	165,043	146,762
その他	8,086	6,921
① 資産合計	647,627	613,908

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 (2013年9月30日現在)	前期 (2013年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	190,763	195,438
支払手形及び買掛金	70,660	73,907
短期借入金	89,994	84,627
その他	30,107	36,903
固定負債	131,063	123,574
長期借入金	67,437	61,183
その他	63,626	62,391
② 負債合計	321,826	319,013
(純資産の部)		
株主資本	315,860	301,353
資本金	41,970	41,970
資本剰余金	35,595	35,595
利益剰余金	246,400	231,882
自己株式	△8,105	△8,094
その他の包括利益累計額	△2,025	△17,497
その他有価証券評価差額金	11,951	8,607
土地再評価差額金	206	206
為替換算調整勘定	△14,183	△26,311
少数株主持分	11,965	11,039
③ 純資産合計	325,800	294,895
負債・純資産合計	647,627	613,908

■ 総資産／純資産／1株当たり純資産



① 資産合計

持分法適用関連会社の投資持分の増加や有形固定資産の増加などにより、前期末に比べて増加しました。

② 負債合計

借入金の増加などにより、前期末に比べて増加しました。

③ 純資産合計

利益剰余金の増加や為替換算調整などにより、前期末に比べて増加しました。

連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期(累計) (2013年4月1日から 9月30日まで)	前第2四半期(累計) (2012年4月1日から 9月30日まで)
④ 売上高	266,563	232,789
売上原価	225,700	200,783
販売費及び一般管理費	30,841	28,072
⑤ 営業利益	10,020	3,933
営業外収益	14,789	11,771
営業外費用	3,234	4,469
⑥ 経常利益	21,574	11,235
特別利益	175	318
特別損失	518	3,829
税金等調整前四半期純利益	21,231	7,724
法人税等	2,370	△741
少数株主利益	311	349
四半期純利益	18,550	8,116

④ 売上高

円安を背景とした製品全般の販売価格上昇などにより、前年同期に比べて増収となりました。

⑤ 営業利益

輸出製品の採算改善に加え、半導体及び液晶向け製品の販売数量が増加したことや、前期に実施した構造改革により高純度イソフタル酸及びメタキシレンの固定費が軽減されたことなどから、増益となりました。

⑥ 経常利益

営業利益の増加に加え、持分法利益も海外メタノール生産会社を中心に前年同期を上回ったことから、増益となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期(累計) (2013年4月1日から 9月30日まで)	前第2四半期(累計) (2012年4月1日から 9月30日まで)
税金等調整前四半期純利益	21,231	7,724
減価償却費	11,407	10,776
持分法による投資利益	△11,842	△9,937
持分法適用会社からの 配当金の受取額	7,486	7,417
運転資金等	△12,451	9,690
法人税等の支払額または還付額	△177	△819
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,653	24,851
設備投資資金等	△16,529	△14,714
投融資資金等	△78	△832
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,608	△15,546
借入金・社債増減額等	4,262	△5,174
配当金支払額	△3,184	△3,112
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,078	△8,286
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,381	△403
現金及び現金同等物の増減額	3,505	614
現金及び現金同等物の期首残高	26,907	35,701
連結子会社の決算期変更に伴う 現金及び現金同等物の増減額	430	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,843	36,315

株式の概要

(2013年9月30日現在)

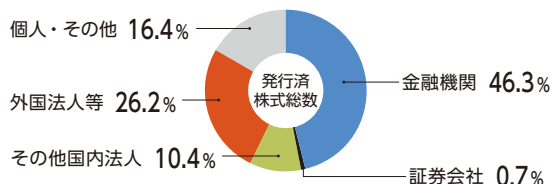
発行可能株式総数	984,856,000株
発行済株式の総数	483,478,398株
株主数	24,160名
上場取引所	東京証券取引所第一部（証券コード：4182）

大株主

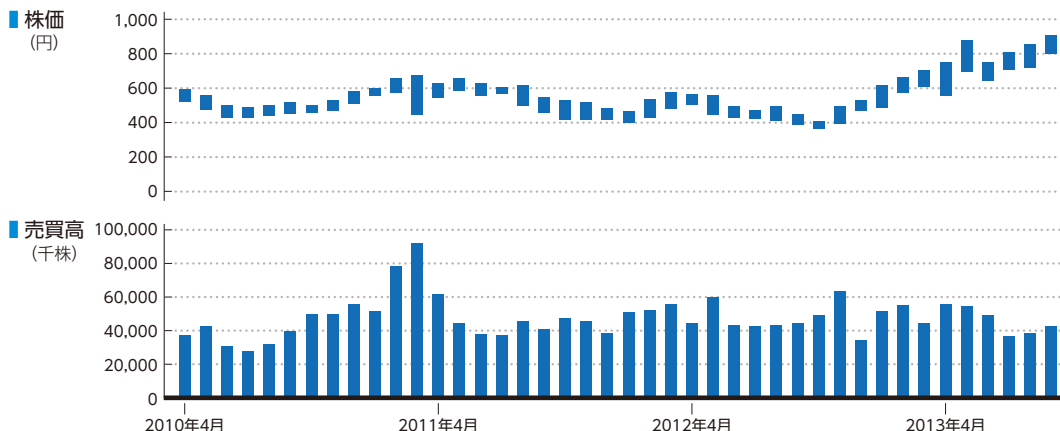
株主名	持株数（千株）	出資比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	30,907	6.8%
日本生命保険相互会社	21,056	4.7%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	21,037	4.7%
明治安田生命保険相互会社	16,795	3.7%
全国共済農業協同組合連合会	14,069	3.1%
株式会社三菱東京UFJ銀行	13,611	3.0%
三菱UFJ信託銀行株式会社	10,128	2.2%
農林中央金庫	10,053	2.2%
旭硝子株式会社	9,671	2.1%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	6,980	1.5%

(注) 1. 当社は自己株式を31,783千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 出資比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



株価等の状況



会社概要

(2013年9月30日現在)

社名	三菱ガス化学株式会社 (登記商号：三菱瓦斯化学株式会社) MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.	資本金	419億7千万円
従業員数	2,516名 (連結：5,460名)	事業所	営業所：大阪支店 研究所：東京テクノパーク (東京研究所、MGC分析センター)、新潟研究所、平塚研究所
本社所在地	〒100-8324 東京都千代田区丸の内二丁目5番2号 三菱ビル	工場	新潟工場、水島工場、四日市工場、山北工場、鹿島工場
創業	大正7 (1918) 年1月15日		
設立	昭和26 (1951) 年4月21日		

役員	代表取締役会長 代表取締役社長 代表取締役専務執行役員 代表取締役専務執行役員 取締役常務執行役員 取締役常務執行役員 取締役常務執行役員 取締役常務執行役員 取締役常務執行役員	酒井和夫 倉井敏磨 織作正美 渡邊哲志 酒井幸男 杉田克彦 山根祥弘 河 邦雄	取締役常務執行役員 取締役常務執行役員 取締役非常勤・社外 執行役員 執行役員 執行役員 執行役員 執行役員	林 勝茂 城野正博 二瓶好正 近藤 治 村井修一 稲政顕次 阿部崇文	執行役員 執行役員 執行役員 執行役員 執行役員 執行役員 執行役員	吉田 晋 尾登主佳 佐藤康弘 岩切常昭 藤井政志 設楽琢治 久保田千春 水上政道	理事 監査役 監査役 監査役 監査役 監査役 監査役 監査役 監査役	石和田 彰 川上邦彰 柴田博至 大矢邦夫 松山保臣
----	---	--	---	--	--	---	--	---------------------------------------

連結子会社 (40社)

木江ターミナル(株) (株)東京商会 日本サーキット工業(株) 日本パイオニクス(株) (株)日本ファインケム 菱江化学(株) 菱和エンタープライズ(株) MITSUBISHI GAS CHEMICAL SINGAPORE PTE. LTD. MGCエレクトロテクノ(株) 海洋運輸(株) エーアンドシー(株) 東洋化学(株) MGCフィルシート(株) 永和化成工業(株)	三永純化(株) MGC PURE CHEMICALS AMERICA, INC. THAI POLYACETAL CO., LTD. MITSUBISHI GAS CHEMICAL AMERICA, INC. 菱陽商事(株) P.T.PEROKSIDA INDONESIA PRATAMA 共同過酸化水素(株) 国華産業(株) フドー(株) (株)フドーテクノ 米沢ダイヤエレクトロニクス(株) エイ・ジイ・インタナショナル・ケミカル(株) MGC ADVANCED POLYMERS, INC. MGCファイナンス(株)	太陽産業(株) ポリオールアジア(株) MGC PURE CHEMICALS SINGAPORE PTE.LTD. 巨菱精密化学股份有限公司 三菱瓦斯化学工程塑料 (上海) 有限公司 蘇州菱蘇過酸化化物有限公司 岩井海運(有) KSK (PANAMA) CORP. GLORIOUS & KSK (PANAMA) S.A. VIGOROUS & KSK (PANAMA) S.A. COURAGEOUS & KSK (PANAMA) S.A. MGC ELECTROTECHNO (THAILAND) CO., LTD.
---	--	---

株式についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
同総会権利行使株主確定日	3月31日
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL： http://www.mgc.co.jp/ir/public_notices/
1単元の株式数	1,000株
株主名簿管理人 特別口座の管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話（0120）232-711（フリーダイヤル）

株式に関するお問い合わせ先

- 1) 株主様の住所変更、単元未満株の買取・買増請求等の各種
お手続きにつきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせ
ください。
- 2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続き、支払期間
経過後の配当金受取、郵送物の発送等につきましては、上記
三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

【税制変更のお知らせ】

税制変更に伴い、当社のお支払する配当金に係る源泉徴収税率が昨年までと変わりました。

- ①復興特別所得税
復興特別所得税として平成25年1月1日から平成49年12月31日までの所得税額に2.1%を乗じた額が追加で課税されます。
- ②軽減税率の特例廃止
上場株式等の配当等に係る軽減税率の特例が廃止され、平成26年1月1日より本則税率20%（所得税15%、住民税5%）に戻ります。

左記により、平成25年1月1日以降に支払われる上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率は以下のとおりとなります。

	平成25年1月1日 ～平成25年12月31日	平成26年1月1日 ～平成49年12月31日
所 得 税	7%	15%
復興特別所得税	0.147%※	0.315%※
住 民 税	3%	5%
合 計	10.147%	20.315%

※ $7\% \times 2.1\% = 0.147\%$ 、 $15\% \times 2.1\% = 0.315\%$
本ご案内は、上場株式等の配当等に係る復興特別所得税等について、一般的な情報をご提供するために作成されたものであり、本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄りの税務署、税理士等にお問い合わせください。